

# 平成27年度 徳島県立小松島西高等学校 学校評価計画

## 本年度の重点課題

- 1 基礎学力の確実な定着を図るとともに、自主的に学習しようとする習慣及び態度の育成を図る。
- 2 基本的生活習慣の確立を図るとともに、家庭との連携を密にし、個々の生徒への支援体制の強化及び食育の推進を図る。
- 3 社会で逞しく生きる力の醸成を図り、キャリア教育を充実し、進路の実現をより確かなものにする。
- 4 学校行事や奉仕的活動等に積極的に参加する態度を育み、地域を創生できる人材の育成を図る。
- 5 いじめのない教育環境づくりを進めるとともに、人権問題解決に向けて自主的・主体的に取り組む生徒の育成を図る。
- 6 生命尊重を基盤とする安全教育を推進し、事故防止に努めるとともに、防災対策の強化を図る。
- 7 保護者との連携をより深めるとともに、地域に開かれた学校づくりに努める。

**重点課題 1** 基礎学力の確実な定着を図るとともに、自主的に学習しようとする習慣及び態度の育成を図る。

重点目標	評価指標	活動計画
① 基礎学力の定着とともに、専門の知識・技術をの向上を図る。 [教務課]	①年間学習指導計画に基づいた授業を実施し、各科目の授業時間を昨年より5%多く確保する。 ②各学期末考査での欠点数を、昨年度同学期末より5%以上減少させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の精選とともに特別時間割計画に留意する。</li> <li>・授業評価アンケートを通じて生徒の個性、能力を把握し、生徒にあった授業を工夫する。</li> <li>・授業内容定着のため、適切な小テストを実施する。</li> <li>・補講を確実に消化させる。</li> </ul>
② 公開・研究授業等を通して、生徒一人一人の個性や能力に応じた指導方法・評価方法の工夫改善を行う。 [教務課, 教相研課]	①公開・研究授業を年1回以上実施する。 ②授業見学を一人3回以上実施し、授業評価シートを提出する。 ③教科会を年1回以上実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内公開・研究授業週間を設定し、公開・研究授業を実施する。</li> <li>・相互授業見学を行い、学習指導方法や学習評価および教育課程についての研究に努める。</li> <li>・各教科会で指導方法等を研究し、生徒の実態に即した計画的な指導法と評価方法を確立し、授業改善や学力向上を図る。</li> </ul>
② 意欲的・自主的に学習する態度の育成と学習習慣の確立を進め、学力の向上を図る。 [進路課] [各学年]	① 年3回家庭学習時間調査を実施する。家庭学習時間が30分以上の生徒を前年度より増加させる。  <1学年> ・課題テスト前の学習時間調査の満足度が90%を目指す。  <2学年> ・毎朝のSHRで5分間学習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校集会や学年集会で学習習慣を確立することの重要性について話をする。ホームルーム等で進路情報を提供する。</li> <li>・各学期、定期考査前に家庭学習時間調査を実施し、その結果を職員で共有し、前回と比較したグラフを教室掲示し、生徒の自主学習の動機付けを図る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;1学年&gt; ・日々のホームルーム活動時より、進路意識を高める情報を提供し、自ら進路目標を立てられるよう、指導する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;2学年&gt; ・朝のSHRで学力向上、定着を図るために、月-書き写し、水</li> </ul>

	<p>&lt;3学年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期は50回，2学期は60回，朝の時間を利用して，一般常識を身につけさせる。</li> </ul>	<p>-漢字，金-一般教養の小テストを実施する。また，資格試験合格を目指して，火・木-専門科目を実施する。</p> <p>&lt;3学年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般教養，常識問題に関する内容を中心に取り扱った，小テストを実施する。</li> </ul>
<p>③ 各種検査や学力養成のための試験等を実施し，生きる力を養う。 〔進路課〕</p>	<p>①希望者を対象に進学・就職補習（5月～随時）を計画・実施する。</p> <p>②1年次に生徒理解検査，2年次に職業適性検査，3年次にクレベリン検査を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題テストは，進路年間計画に位置づけ，年度当初に時期と範囲を知らせ，学力養成につなげる。</li> <li>・進学・就職補習実施担当者は各担任との連携を密にして，生徒に時機を得た適切な指導ができるように配慮する。</li> <li>・校外模試の成績等を活用し，より具体的な進路目標の決定や，実力の更なる向上につながるよう助言する。</li> <li>・各種検査を通して生徒の自己理解を図る。</li> </ul>
<p>④ 図書室の利用を拡大し貸出冊数の増加を図るとともに，幅広くさまざまな分野の図書に親しみ，充実した読書経験を持てるようにする。 〔図書研究課〕</p>	<p>① 図書委員会を各学期毎に実施する。</p> <p>② 図書館便りを発行し，新着図書の案内をする。</p> <p>③ 図書リクエストカードを活用し，生徒の多様な読書意欲に応える。</p> <p>④ 貸出冊数を前年度より増加させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書委員が中心となって，図書館の広報活動を行う。</li> <li>・図書館便りを年8回発行する。</li> <li>・集団読書会用テキストを使ったHR読書会を年2回実施する。</li> <li>・昨年度の生徒一人あたり貸出冊数3.9冊より増やす。</li> </ul>

**重点課題 2** 基本的生活習慣の確立を図るとともに，家庭との連携を密にし，個々の生徒への支援体制の強化及び食育の推進を図る。

重点目標	評価指標	活動計画
<p>① 学校生活全般を通じて，基本的な生活習慣の確立を図る。 〔生徒指導課〕〔各学年〕</p>	<p>①毎月1回，全校集会を実施する。</p> <p>&lt;1学年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の遅刻率を10%以内にとどめる。</li> </ul> <p>&lt;2学年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無断遅刻者の0人を目指す。</li> </ul> <p>&lt;3学年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラス月間遅刻数をクラス人数の2%以内にすることを目標とする。</li> </ul>	<p>①毎月初めに全校集会を実施する。ルールやマナーなど社会の規律について考える機会を持ち，規則正しい生活ができるよう指導する。また，服装や頭髪について考える機会を学年別に設定する。</p> <p>②授業の開始時に服装等を点検する。</p> <p>&lt;1学年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の漢字テスト実施をもとに，定刻前に登校できるよう促す。</li> </ul> <p>&lt;2学年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3回/月で担任の指導（反省文など），5回/月で学年主任の指導（奉仕作業など）を実施する。</li> <li>・複数月に渡る場合は保護者召還のうえ，指導する。</li> </ul> <p>&lt;3学年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校門立哨を実施し，交通安全指導と遅刻防止を促す。</li> <li>・遅刻数が月3回で担任指導，5回以上で主任指導を行うこととする。</li> </ul>

		とで、時間を守ることの大切さを認識させる。
② 常に生徒の状況を把握し、問題の早期発見に努め、組織的な指導を行うとともに、家庭、地域・関係機関との連携を密にした指導を行う。 〔生徒指導課〕	①年間遅刻者数を、前年度より10%以上減少させる。	①毎朝、複数教員が3カ所の校門に立ち登校指導を行う。遅刻防止と自転車のマナー向上のための声かけを行う。 ②毎月、遅効調査を実施し、多遅刻（月5回程度）の場合は担当が保護者に連絡し、支援・協力を要請する。学校と家庭が連携をとりながら改善を目指す。 ③学年ごとに遅刻指導を実施する。
③ 保健安全管理を適正に行うとともに健康安全教育の推進を図り、厚生関係の事務処理を適正に行う。 〔保健厚生課〕	①保健意識の向上と疾病等の予防を図るための啓発活動を年1回以上行う ②疾病予防の知識を行動に繋げるために、各種感染症予防対策を1回以上行う。 ③定期健康診断の再検査未受診者に対するの受診勧告・個別指導を年1回以上行う。 ④正しい食習慣や生活習慣についての啓発活動を、1回以上実施する。	・生徒への保健事業を行う。 ・感染症に対する情報収集をし、情報提供及び予防・対応法についての啓発活動を年1回以上行う。 ・生徒の健康診断の事務処理を適正に行う。 ・希望する生徒に対する厚生関係事務処理を適正に行う。 ・徳島県奨学金・日本学生支援機構による奨学金等の各種奨学金申請希望者に対するの事務処理を適正に行う。 ・職員や生徒に対して「AEDの使用法」等の研修会を年1回以上実施する。
④食物科生徒による食育リーダーピアサポートを4学科連携で進め、学校全体での食育の推進を図る。 〔家庭科〕	①校内食育推進委員会を年2回実施する。 ②食物科生徒による「食育だより」を年5回以上発行する。 ③家庭クラブ活動において、校内での食育啓発活動を進める。	・校内食育推進委員会を機能させ、学校全体で食育に取り組み組織を構築する。 ・「食育だより」の内容について、各クラスで家庭クラブ委員が啓発活動を実施する。 ・家庭クラブ週間において、校内に食育に関するポスターを掲示し、意識の高揚を図る。
⑤ 行動面や学習面で教育的支援が必要な生徒を学校全体で支えていく体制を確立し、特別支援教育を組織的・系統的に展開する。 〔教育相談・研修課〕	①教職員の特別支援教育研修を年1回以上開催する。 ②特別支援委員会を各学期1回実施する。対象生徒について、2学期末に事後報告書を提出する。 ③年間10日以上欠席者数を10%以上減少する。 ④特別支援や不登校に関する面談や家庭訪問報告書を提出する。	・教職員に対し、本校の特別支援教育について説明するとともに、特別支援教育研修を実施する。 ・特別支援委員会においては、特別な支援を必要とする生徒やいじめや不登校傾向のある生徒の対策を検討し、学校全体の共通理解のもと、支援を行うとともに、対策実施後の2学期末に報告書を作成する。不登校傾向生徒は、2ヶ月続けて3日以上欠席者を対象とする。 ・校内連携のために、各学年主任を中心に特別支援や不登校に関する報告書を作成いただき、課内連携を密にして、外部相談機関へとつなげていく。

**重点課題 3** 社会で逞しく生きる力の醸成を図り、キャリア教育を充実し、進路の実現をより確かなものにする。

重点目標	評価指標	活動計画
① キャリア教育を推進し、社会的・	・早い時期での将来の目標決定を目指し、3年生	・インターンシップ、企業見学、進路説明会、講演会などで

職業的自立基盤となる能力や態度を育成する。

[進路課][各学科]

年度当初の進路希望調査において未定者の割合が10%未満をめざす。

<商業科>

- ①単元テストや確認テストを実施する。また、それに対する家庭学習課題を提示する。
- ②商業に関する各種資格検定の受験を奨励し、各検定合格率上昇を目指す。資格取得の意識を高め、日商検定受験の合格を目指す。
- ③卒業時、全商検定3種目以上1級合格者の50%以上増加を目指す。
- ④机上の学習を基礎にして、実際のビジネスを体験する活動に取り組む。

<食物科>

- ①家庭科技術検定（食物調理）の合格率を各学年それぞれ100%をめざす。
  - 1年－4級・3級（100%合格）
  - 2年－2級（100%合格）
  - 3年－1級（100%合格）
- ②校内における実技検定を各学年それぞれ、100%合格をめざす。
  - 1年：日本料理（かつらむき・鯖の三枚卸等）
  - 2年：中国料理（北京鍋の振り方等）
  - 3年：西洋料理（アッジェ・ツルネ・オムレツ等）
- ③その他の資格取得についてもそれぞれ100%の合格率をめざす。
  - 食育インストラクター
  - 技術考査

<生活文化科>

- ①家庭科技術検定（被服製作）
  - 4・3級（100%合格）
  - 2級（100%合格）
  - 1級（85%以上合格）
- ②色彩検定
  - 3級（50%以上合格）
- ③工場見学全員参加
- ④インターンシップ全員参加
- ⑤ファッションショー観覧全員参加
- ⑥各種コンテストへの応募一人2点以上

<福祉科>

- ①介護福祉士国家試験の合格率90%以上をめざす。

具体的な目標を決定を進めるとともに、進路指導室での個別相談などを推進する。

<商業科>

- ・単元テストや確認テストを実施し、学習内容の定着を図る。課題を提示することにより、家庭学習の習慣づけを図る。
- ・学習の理解度を高め、生徒それぞれが目標とする資格取得につながる補習を実施する。
- ・インターンシップやアントレプレナーフェアに取り組む。

<食物科>

- ①専門科目の授業1単位35時間を確保する。
- ②授業内容定着のため、小テスト・実技テスト等を実施する。（考査時の専門科目の目標 60点）
- ③各調理実習において技術の到達度の確認を実施する。技術検定は1・2年生は調理、3年生は課題研究で実施する。
- ④調理関連企業へのインターンシップの実施を通して進路決定や職業観・勤労観の育成を図る。
- ⑤各種コンテストに応募し、創意工夫し、技術力の向上を図る。

<生活文化科>

- ・進捗表を作成し、教員や生徒自身が進捗状況を確認するとともに技術の確実な定着、向上を図る。
- ・日々小テストを実施し、学習の習慣や知識の定着を図る。
- ・アパレル関連企業へのインターンシップの実施や専門学校主催のファッションショー観覧を通して進路決定や職業観・勤労観の育成を図る。
- ・各種コンテストに応募し、デザイン力や技術力の向上を図る。

<福祉科>

- ・専門科目の授業1単位35時間を確保し、国家試験合格に必

		<p>要な知識と技術の習得をはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容定着のため、単元テスト・確認テスト・実技テストを実施する。</li> <li>・日々の学習や長期休業中に適切な課題を与え、家庭学習時間調査を行い、その成果を課題テスト等で確認する。</li> </ul>
<p>② 具体的できめ細やかな進路指導を行い、生徒の自己実現の支援を行う。 [進路課][各学年]</p>	<p>①進学・就職補習実施担当者は各担任との連携を密にして、生徒に時機を得た適切な指導ができるように配慮する。</p> <p>②校外模試の成績等を活用し、より具体的な進路目標の決定や、実力の更なる向上につながるよう助言する。</p> <p>③各種検査を通して生徒の自己理解を図る。</p> <p>&lt;1学年&gt; ・個人面談を各学期1回以上の実施を目指す。</p> <p>&lt;2学年&gt; ・校内で、進路ガイダンスを実施する。</p> <p>&lt;3学年&gt; ・三者面談を年2回以上実施する。 ・就職希望者は模擬面接指導を6回以上、進学希望者は3回以上実施する。</p>	<p>・年度当初に面談計画を立て、各学期のできるだけ早い時期に実施し、生徒の状況把握に努める。</p> <p>・保護者との面談を早期に実施するとともに、日頃から家庭との連絡を密にし、連携を図る。また、進路決定に役立つ情報提供を行う。</p> <p>・7月下旬に3年生全員を対象に、就職・進学希望者別に、進路説明会を開催する。これを受けて生徒の個別面談指導に入る。</p> <p>・校外で行われる進学相談会の案内を全学年に対して行い、積極的に参加するよう呼びかけるとともに、進学先が具体化してきた生徒に対してはオープンキャンパスにも積極的かつ計画的に参加するよう呼びかける。</p> <p>&lt;1学年&gt; ・長期休業後や定期考査の機会を活用し、個人面談を実施する。行い、生徒の自己実現の支援を行う。</p> <p>&lt;2学年&gt; ・進路課と話し合い、アンケート結果をもとに、生徒のニーズに合った雇用先や学校に来てもらう。</p> <p>&lt;3学年&gt; ・家庭との連携を密にすることで、人間関係を構築しお互いの情報交換を行う。 ・生徒の進路実現のため、教職員全員で面接指導に取り組む。</p>

**重点課題 4** 学校行事や奉仕的活動等に積極的に参加する態度を育み、地域を創生できる人材の育成を図る。

重点目標	評価指標	活動計画
<p>① 学校行事や生徒会などの活動で、生徒が自主的に活動する態度を育成する。 [特別活動課][各学年]</p>	<p>①学校評価に関するアンケートの、「学校行事が充実しており、子供は学校生活に生き生きと取り組んでいる」の問いが「よくあてはまる」「ややあてはまる」の2つで80%以上になること。</p> <p>&lt;1学年&gt;</p>	<p>①学校行事について、実施時期や内容について十分検討し、実施する。生徒会を中心として、生徒が自主的・主体的に参加できるようにする。</p> <p>&lt;1学年&gt; ・普段のホームルーム経営をとおり、「全員が協力、何事に</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育祭・文化祭・球技大会等学校行事に積極的に参加し、欠席者を0にする。</li> </ul> <p>&lt;2学年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行前に4回の全体事前学習を実施する。</li> </ul> <p>&lt;3学年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育祭・文化祭・球技大会等学校行事に積極的に参加し、欠席者を0にする。</li> </ul>	<p>も積極的に参加」をモットーに活力のある集団を育てられるよう、環境を整える。</p> <p>&lt;2学年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行の全体事前学習として、「旅程確認」,「班決め」,「自主研修の事前学習」,「結団式」を実施し、団体行動を通じて社会性・公共心・責任感を養う。また、情報収集力、企画力、物事を積極的に探求する姿勢を養う。</li> </ul> <p>&lt;3学年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段のホームルーム経営をとおり、全員が何事にも積極的に参加し、有意義な活動が体験できる環境をつくる。</li> </ul>
② 部活動の活性化を推進する。 〔特別活動課〕	<p>①学校評価に関するアンケートの、「部活動が充実しており、活発である」の問いが「よくあてはまる」「ややあてはまる」の2つで80%以上にする。</p> <p>②部活動入部率を80%以上にする。</p>	<p>①部活動紹介や集会等で、部活動の意義や重要性を伝達する機会を設定する。部活動顧問の適切な配置をする。</p> <p>②1年生については原則として全員入部させる。</p>
③ ボランティア活動や地域に根ざした活動などを実施する。 〔特別活動課〕	<p>①学校評価に関するアンケートの、「生徒会活動や各種委員会活動は活発に行なわれている」の問いが「よくあてはまる」「ややあてはまる」の2つで80%以上にする。</p>	<p>①奉仕的な活動についても、生徒会や、各種委員会を中心として、地域社会に貢献するような活動に積極的に参加できるようにする。</p>
④ 環境への関心を高め、環境問題や環境整備に自主的・主体的に取り組む態度と実践力を育成する。 〔環境教育課〕	<p>①全校生徒と全校教職員が、学期に1回以上の大掃除に取り組む。</p> <p>②環境美化委員会を学期に1回以上実施し、ポスター等を作成して掲示し、ゴミの分別、電気・水の節約や清掃の徹底に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期末や行事のおりに大掃除を実施する。</li> <li>・紙の有効利用等の省資源活動に取り組む。資源ゴミの分別収集をしゴミの削減に取り組む。</li> <li>・教室や掲示版・トイレなどに電気・水の節約をよびかけるポスターを掲示する。</li> </ul>
⑤ 地域の教育力を活用し、地域創生に協力できる学校づくりに努める。 〔教務課〕〔各学科〕	<p>①4学科の特徴を活かした学校行事、奉仕活動等に生徒が年に1回以上参加する。</p> <p>&lt;商業科&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス基礎の科目の中で1学年全員が地域のイベントに参加し体験的な学習に取り組む。</li> </ul> <p>&lt;食物科&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年が地域での行事やイベントに年1回は参加する。</li> <li>・2年生3年生は「ミニカフェ」を計画運営する</li> <li>・小松島市との連携により、小松島の食材を知り活用し、地域の活性化を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学科の特徴を活かした文化祭行事や、公開授業、学校行事を計画し、生徒の積極的な参加を促す。</li> </ul> <p>&lt;商業科&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベントでアントレプレナーフェアを計画運営し、地域経済の活性化を図る。</li> </ul> <p>&lt;食物科&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生3年生は「ミニカフェ」を計画運営することにより、地産地消や生活習慣病予防食としてヘルシーメニューを提供することにより地域のQOLを向上する。</li> <li>・小松島市との連携により、小松島の食材を地域の活性化を目指す。</li> </ul>

	<p>&lt;生活文化科&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年が地域での行事やイベントに年1回参加する。</li> </ul> <p>&lt;福祉科&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年が地域での行事やイベントに年1回は参加する。</li> </ul>	<p>&lt;生活文化科&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>はちまはち狸まつりでのファッションショー</li> <li>各施設でのファッションショー</li> </ul> <p>&lt;福祉科&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年生 養護老人ホーム文化祭への参加，高齢者との交流。</li> <li>2年生 はちまはち狸祭りへの協力，学習成果の披露。</li> <li>3年生 施設への介護ボランティア，イベントへの参加協力。ふれあい看護体験への参加による医療専門職との交流。</li> </ul>
--	--	--

**重点課題 5** いじめのない教育環境づくりを進めるとともに、人権問題解決に向けて自主的・主体的に取り組む生徒の育成を図る。

重点目標	評価指標	活動計画
<p>① いじめのない教育環境づくりを進める。 [生徒指導課] [教育相談・研修課]</p>	<p>①生徒対象の学校生活アンケートを年1回以上実施する。</p> <p>②教育相談室において、昼休みを中心に個別の教育相談活動を展開する。特に問題のある生徒など活動記録に記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の学校生活の実態を把握し、いじめの未然防止に取り組む。</li> <li>教育相談室において、昼休みを中心に生徒の自由な入室を促し、個別の教育相談活動を展開し、教育相談室記録をつけ、各担当者の連携を図るとともに、いじめの早期発見に努める。</li> </ul>
<p>②「徳島県人権教育推進方針」に基づき、すべての人の人権が尊重される社会の実現に向け、人権教育を推進する。 [人権教育課] [各学年]</p>	<p>①学校評価に関するアンケートの『学校はすべての教育活動において、人権に配慮した指導を行っている』が、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の2つで80%以上にする。</p> <p>②学校評価に関するアンケートの『職員に対する人権教育研修は、指導力の向上に役立っている』が、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の2つで70%以上にする。</p> <p>&lt;1学年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価に関するアンケート「人権ホームルーム活動や人権劇の干渉を通じて、人権問題への解決への意識が高まっている」の満足度が100%を目指す。</li> </ul> <p>&lt;2学年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学年団で、人権教育研修会を5回実施する。</li> </ul> <p>&lt;3学年&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年、全教科において、人権教育の視点を持たせた授業を実施する。在学中に、「徳島県人権教育推進方針」に基づいた個人人権課題を積極的に学習させるよう工夫する。</li> <li>人権教育課員、新規転入職員を中心に識字学級に参加し、地域との交流の機会をもつ。</li> <li>「セクシュアルハラスメント防止規程」の遵守を職員に徹底する。</li> </ul> <p>&lt;1学年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人権ホームルーム活動や人権劇の干渉後の活動日誌や感想文をとおして、生徒の満足度を確認する。</li> </ul> <p>&lt;2学年&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人権教育ホームルームの1週間前に研修会をする。</li> <li>1回あたり3名の担当者が指導案と資料を作成する。</li> <li>内容は、生徒の実状にあうように、また時代に即するように吟味する。</li> </ul> <p>&lt;3学年&gt;</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間5回実施される人権教育ホームルーム活動において、ひとり1回は自分の意見を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前研修会を実施し、指導を充実させる。</li> <li>・各授業やホームルーム活動をとおり、人権・同和問題を自分のこととして捉えさせ、差別やいじめのない社会づくりに貢献できる態度を育てる。</li> </ul>
<p>③ 人権の意義や重要性を知識として確実に身につけさせるとともに、学んだことを行動に結びつける実践力を育成する。</p> <p style="text-align: right;">〔人権教育課〕</p>	<p>①学校評価に関するアンケートの『人権ホームルーム活動や人権教育講演会等を通じて、人権問題解決への意識が高まっている』が、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の2つで80%以上にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権週間、松西祭での人権展、人権講演会などの機会を利用し、全ての生徒が人権について考えさせる。</li> <li>・「いのち輝くメッセージ」の生徒作品を発表する機会を2学期末に設ける。</li> </ul>

**重点課題 6** 生命尊重を基盤とする安全教育を推進し、事故防止に努めるとともに、防災対策の強化を図る。

重点目標	評価指標	活動計画
<p>① 安全対策を推進し、事故防止に努め、防災・減災対策の強化を図る。</p> <p style="text-align: right;">〔環境教育課〕</p>	<p>①生徒への防災教育と教職員の意識向上等をはかり防災意識を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災計画書を作成し、教職員の意識の高揚を図る。</li> <li>・1学期に火災対策の避難訓練を実施し、避難経路を確認し防災に関する意識を高める。</li> <li>・2学期に地震時の津波に対する避難訓練と救出救護訓練・救急法を実施し、避難経路や防災に関する意識を高める。</li> <li>・防災ボランティア講師による講演会を実施する。</li> </ul>

**重点課題 7** 保護者との連携をより深めるとともに、地域に開かれた学校づくりに努める。

重点目標	評価指標	活動計画
<p>① P T A活動の充実・促進に努め、教育活動全般について、保護者との密接な連携を図る。</p> <p style="text-align: right;">〔総務課〕</p>	<p>①PTA総会の参加者の割合を4割以上にするとともに、次年度に向けてさらに向上させる。</p> <p>②PTA研修会の内容を検討し、年間で1回実施する。</p> <p>③各HRの役員や評議員を中心とした会合を年1回以上実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会と参観授業についての内容を保護者のニーズに合ったものとなるように工夫し、周知徹底させる。</li> <li>・年度当初の役員会・評議員会で検討し、希望に沿った研修になるよう計画し実施する。</li> <li>・PTA総会後や夏期休業中を活用して保護者との情報交換を行う。</li> </ul>
<p>② ホームページの更新回数を増やし、保護者や地域の方に本校の活動を理解してもらえよう努めるとともに、緊急時や、学校行事等、常に有益で新しい情報発信を行う。</p> <p style="text-align: right;">〔教務課：情報〕</p>	<p>①ホームページのアクセス数を10%増やす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての教職員がホームページの更新にかかわり、各科、課、学年、部活動等から有益な情報をリアルタイムで発信する。</li> <li>・P T A総会等を通じて本校のホームページへのアクセス方法について理解してもらえよう努める。</li> <li>・保護者に対してアンケートを実施し、認知度を調べたり、どのような情報が求められているか把握する。</li> </ul>

